

JAPAN BFSI TREND REPORT

# 金融・保険業界における AI エージェント



# 目次



01  
はじめに



02  
AI エージェント  
とは



03  
金融・保険業界  
における  
グローバルトレンド



04  
エンタープライズ  
ソリューション  
トレンド



05  
日本国内の  
エージェント  
ストーリー



06  
当社アプローチ



## エージェント的な未来の価値

世界的なイノベーションの中心には、AI エージェントという戦略的トレンドがあり、会話をリードし、企業 AI の運用化への道を切り開いている

当社は、銀行、金融、保険サービスへの影響を共に探求することに興奮している。当社はこの分野のグローバルリーダーとしての経験を活かし、新たな興奮に満ちた展望への道を案内するシェルパとなることを約束する

このトレンドレポートでは、AI エージェントの概念、その影響、および BFSI 市場における応用についてまとめた

# エージェントの明確化

エージェント型 AI とは、複雑なタスクを自律的に実行し、意思決定を行い、最小限の人間の介入で行動を起こすことができる AI システムを指す。

これにより、監督なしで計画、適応、行動し、目標を達成することが可能となる。従来の AI アシスタントが指示に応答するだけであるのに対し、AI エージェントは積極的かつ動的に行動<sup>1</sup>

OpenAI は、AI のレベルを AGI（人工汎用知能）までの 5 段階に分類しており、AGI はほとんどのタスクを人間よりも優れた能力で解決できると提言。AI エージェントは、この分類におけるレベル 3 に相当する<sup>2</sup>

**~33%**

AI の導入により、運用効率と生産性が最大 33% 向上と予測<sup>3</sup>

**+600**

AI と顧客対応を行うスタッフを組み合わせることで、収益が 600 ベースポイント増加見込<sup>3</sup>

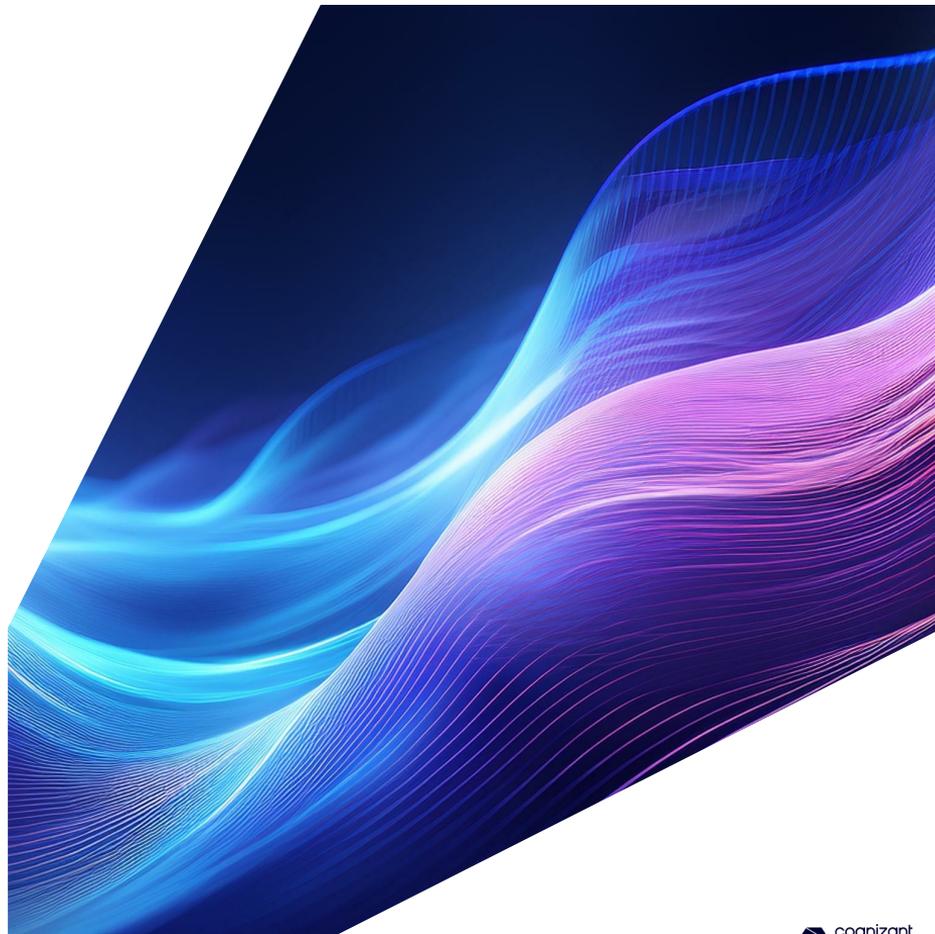
**53%**

53% の銀行は AI の急速な進展に対応する準備が未整備<sup>3</sup>



03

# 金融・保険業界 における グローバルトレンド



# CX、EX、Ops を横断



トレンド 1

パーソナライズ  
オファー



トレンド 2

顧客エンゲージ  
メント



トレンド 3

業務効率化



トレンド 4

リスク管理と  
引受



トレンド 5

財務予測



トレンド 6

KYCと  
オンボーディング



トレンド 7

不正防止



トレンド 8

コンテンツ  
自動化

# 1. パーソナライズ・オファー

## 顧客行動分析エージェント

AI エージェントは、定期的に顧客の消費行動を分析し、トレンドや好み、ニーズを特定

得られたインサイトを金融機関に提供し、金融機関はパーソナライズされた製品やサービス、マーケティングキャンペーンなど、顧客と対話するための効率的な戦略を立てることが可能<sup>4 6 7</sup>

## 製品オーケストレーションエージェント

AI エージェントは、顧客行動から得られたインサイトや金融機関の戦略に基づき、適切なタイミングで製品のアップセルキャンペーンを作成

これにより、顧客満足度と金融機関の収益の両方が向上<sup>3 4 7 11</sup>

## 顧客離脱予測エージェント

AI エージェントは、顧客行動から得られたインサイトに基づき、非エンゲージメントパターンを検知して通知

これにより金融機関は、重要な顧客を維持するための特別な対策を講じることが可能<sup>4</sup>

## 金融アドバイザー エージェント

AI エージェントは、顧客行動から得られたインサイトやリスク許容度、目標に基づき、パーソナライズされた投資提案や財務計画、退職計画のアドバイスを自動的に提案

これにより顧客は、常に特定のニーズに合わせて調整された最も関連性の高い最新のアドバイスを受け取ることが可能<sup>4 6 8 11 12 13 14</sup>

## 債権回収エージェント

AI エージェントは、顧客行動から得られたインサイトに基づき、債務者への最適な連絡方法や返済計画の交渉戦略を特定

これにより回収率を向上させ、金融機関はデフォルトを減らすことが可能<sup>6</sup>

## 顧客セグメンテーション エージェント

AI エージェントは、顧客行動から得られたインサイトや人口統計情報に基づき、顧客をグループに分類

これにより金融機関は、さまざまな消費者グループのニーズに基づいて製品やキャンペーンを開発可能<sup>4</sup>

## 事例

### パーソナライズ ローン エージェント

AI エージェントは、顧客の製品情報やローン支払い猶予プロセスに基づき、自律的にパーソナライズされた製品情報を提供し、ローン支払い猶予プロセスを案内  
これにより、ローンの繰延プロセスは30倍速くなり、処理時間は10分からわずか20秒に短縮<sup>15</sup>

@OCTAVIAN

## 2. 顧客エンゲージメント

### カスタマーサービス エージェント

AI エージェントは、会話型インタラクティブを通じて、残高確認、支払い実行、取引紛争の解決など、幅広い顧客の問い合わせに自律的に対応  
また、顧客の次の行動を予測し、要求される前に関連情報を提供

これにより顧客とのやり取りの摩擦が軽減され、顧客満足度が向上し、人間のカスタマーサービス担当者の負担が軽減<sup>3 4 6 11 12 14</sup>

### ポートフォリオ管理エージェント

AI エージェントは、事前に定義された戦略とリアルタイムデータを活用し、市場機会を捉えて最適なタイミングで即座に意思決定し、取引を実行

これにより顧客のリターンを最大化し、リスクを最小化することで、顧客満足度を向上<sup>4 6 12 13 14</sup>

### 債務カウンセリング エージェント

AI エージェントは、債務者の状況を聞き取り評価し、支払い方法を提案

これにより顧客の不安を軽減し、顧客満足度を向上<sup>4</sup>

### 消費者金融エージェント

AI エージェントは、債務者の信用スコアの最大化、債務返済、長期的な財務健全性などの財務目標に基づいて計画を自律的に調整

これにより顧客が目標を達成し、顧客満足度が向上<sup>7</sup>

## 事例

### オペレーター訓練エージェント

Powered by Cognizant

AI エージェントは、コールセンターの会話を記録し、顧客の感情を理解する。会話後にオペレーターに提案を行うことで訓練を提供

会話内容は自動的に要約され、次のオペレーターやマネージャーがレビュー可能となった

@アメリカ大手銀行

## 3. 業務効率化

### 契約エージェント

AI エージェントは、法的文書の確認と分析を行い、プログラムされた方法に基づいて自律的にタスクを実行

これにより、契約処理にかかる時間と労力を大幅に削減し、金融機関が契約を効率的に管理可能<sup>4,8</sup>

### クレジットワークフローエージェント

AI エージェントは、複雑なローン文書、財務諸表、契約書、担保契約を分析し、ワークフローのプロセスを合理化して高精度化

これにより手作業の労力を削減し、複数ステップのクレジットワークフローを管理<sup>8</sup>

### ドキュメント処理エージェント

AI エージェントを使用することで、様々な財務書類の分析プロセスを統合し改善

これにより、エラー率が低下し、取引の時間が短縮<sup>4</sup>

### 保険請求処理エージェント

AI エージェントは、顧客からの請求報告に基づき、自律的に内部およびスマートフォンやウェアラブルなどの外部ソースデータを収集、検証、損害評価、および請求の承認タスクを自動化

これにより、初期の請求提出から最終的な決済までの承認プロセスが迅速化し、処理コストを削減、顧客満足度が向上<sup>5,6,8</sup>

## 事例

### ESGリサーチ エージェント

Powered by Cognizant

AI エージェントがアナリストからのESGに関する質問に対し、検索エンジンで自律的に繰り返しクエリを生成し、web リサーチを実施。最終回答を作成

@大手グローバル保険会社

## 4. リスク管理と引受

### クレジットスコアリング エージェント

AI エージェントは、予測分析を通じて顧客の信用スコアをリスクプロファイルに照らして評価し、リスク要因や信用力を深く理解した上でクレジットスコアを生成

これにより、客観的で一貫性があり、精度の高いリスクプライシングと迅速な意思決定が可能<sup>5 12 14</sup>

### リスクマネジメント エージェント

AI エージェントは、市場動向、経済指標、過去のデータに基づく予測分析を用いてリスク要因を評価し、金融機関のリスク管理の意思決定を自動化

これにより、人間が見落としがちなリスク要因を迅速に特定し、損失を軽減、規制要件を厳守することが可能<sup>4 6 7 12</sup>

### トレジャリーマネジメント エージェント

AI エージェントは、顧客のデータ、バランスシートの規模、為替リスク、流動性、資本ニーズなどに基づき、予測分析を用いて資金予測、不正検出、支払いスケジュールなどのプロセスを合理化し、反復タスクを管理

これにより、人間の担当者は時間が解放され、流動性リスク管理に集中し、スケーラブルな企業財務を構築可能<sup>8</sup>

### ローン引受エージェント

AI エージェントは、幅広いデータポイントを基に効率的に評価を実施

これにより、人間のローン引受人の仕事と並行して、正確な引受決定を下すことが可能<sup>12</sup>

## 事例

### ダイナミック 360度 リスク評価 エージェント

AI エージェントは、日々の信用リスクモデリングと投資家向けのエージェントリサーチをシームレスに統合し、ダイナミックな 360度 リスク評価を提供

<sup>16</sup>

@martini. AI 株式会社

## 5. 財務予測

### 財務予測エージェント

AI エージェントは、財務諸表、市場動向、経済指標を分析し、財務パフォーマンスを予測

これにより、顧客の健全性や実行可能性などの実用的なインサイトを提供し、金融機関が将来の財務シナリオを正確に予測し、事前に適応することが可能<sup>3 4 6 12</sup>

### 競合分析エージェント

AI エージェントは、市場動向を観察し、自社製品のポジションを分析

これにより金融機関は、自社の製品や価格設定モデルを競合他社と比較し、顧客の意見を取り入れて差別化を強化することが可能<sup>4</sup>

### 市場動向分析エージェント

AI エージェントは、過去のデータと現在の市場状況を分析してトレンドを特定

これにより金融機関や顧客は、資産の購入、売却、および全体的な投資戦略について、十分な情報に基づいた意思決定を実施可能<sup>4 6</sup>

## 事例

### 財務データ分析エージェント

AI エージェントが顧客からの問い合わせに対し、財務データを分析し、処理時間を 60-70% 短縮<sup>17</sup>

@インダスインド銀行

## 6. KYC / オンボーディング

### ID 検証エージェント

AI エージェントは、提出されたドキュメントに対して顔認証や生体認証システムを活用し、自律的に分析する。また、外部データベースと相互参照してリスクプロファイリングを実施

これにより、安全で効率的なID検証を提供し、詐欺リスクを最小限に抑えながら顧客体験を向上<sup>8</sup>

### AML コンプライアンス エージェント

AI エージェントは、顧客の取引情報やデバイスに不正なソフトウェアが実行されているかなどのコンテキストシグナルに基づき、自律的に不審な取引を検知し、不正行為を防止

これにより、AML（マネーロンダリング防止）および CFT（テロ資金供与対策）に関する規制への準拠を確保<sup>8 13</sup>

### 承認エージェント

AI エージェントは、申請データやより広範囲なデータに基づき、自律的に信用度を評価し、迅速に承認を実施

これにより、バイアスを排除し、銀行の業務速度を向上させ、顧客満足度が向上<sup>4 6</sup>

### 事例

#### オンボーディング エージェント

AI エージェントは、顧客のオンボーディングデータに基づき、自律的に Socure の ID 検証および不正予測プラットフォームを使用し、シームレスなオンボーディングを提供

これにより、自動承認が 30% 増加し、手動レビュー率が減少、オンボーディングプロセスが合理化<sup>15</sup>

@Betterment

## 7. 不正防止

### 不正検出エージェント

AI エージェントは、リアルタイムの顧客活動や不規則または疑わしい行動を理解し、機械学習と異常検出アルゴリズムを使って自律的に疑わしい行動をフラグし、即座に対応

これにより、誤検知を減らし、損失を大幅に削減する。セキュリティの強化と信頼を醸成 <sup>4 6 7 11 12 14</sup>

### コンプライアンスチェック エージェント

AI エージェントは、トランザクションや業務のモニタリングデータに基づき、自律的にコンプライアンスチェックを行い、レポートを提供

これにより金融機関のコンプライアンスと規制分析が改善され、ガバナンスが向上 <sup>4 8</sup>

### 規制更新エージェント

AI エージェントは、規制の変更情報を監視し、自律的に必要なレポートを自動生成し、潜在的な問題をフラグ付けする

これにより金融機関は、コンプライアンスの確保とプロアクティブな問題解決が可能 <sup>6 12 14</sup>

## 事例

### 不正検出エージェント

AI エージェントは、トランザクションデータに基づき、規制の変更を監視し、自律的に新しい複雑な不正パターンを検出して会社に警告

これによりカードの検出率が倍増し、誤検知が最大200% 減少。リスクのある顧客の特定速度が300% 向上した <sup>15</sup>

@マスターカード

## 8. コンテンツ自動化

### 投資レポート生成エージェント

AI エージェントは、市場データモデル、LLMs、ニュース、研究報告書、財務諸表などの資料を基に、自律的に広範なデータを分析し、スプレッドシートに取り込み、公開されたテキストやトランスクリプトからナラティブを要約

これにより、カスタマイズされたクライアントレポートが迅速に作成され、投資決定が効率化し、顧客満足度が向上<sup>8</sup>

### 財務報告書生成エージェント

AI エージェントは、日々の金銭価値データを自律的に収集・処理し、レポート生成を容易化

これにより、作業負荷が軽減され、情報提供が迅速<sup>47</sup>

### 規制報告書生成エージェント

AI エージェントは、規制基準に基づき、自律的に規制コンプライアンスレポートを生成・提出

これにより、コンプライアンスの確保、計算の簡素化、エラーと罰則のリスク削減、コンプライアンスチームの作業負荷が軽減<sup>46</sup>

### 事例

#### モニタリングレポート生成 エージェント

Powered by Cognizant

AI エージェントは、投資家のために、さまざまな形式の収益報告書やアナリスト報告書を調査し、レポートを生成

さらに、AI エージェント自身がレポート結果を評価し、精度を向上

@大手グローバル保険会社

# 重要なリスク

## 管理リスク

### 財務

既存システムとの統合が難しく、技術や人材への長期的な投資が必要<sup>10</sup>

### ROI（投資収益率）

収益を上げるまでに時間がかかり、投資回収までの期間が長くなる可能性がある<sup>9</sup>

## 人事リスク

### 組織の変化

従業員の役割を大きく変える可能性があり、変革管理や適切な人材の確保が大きな課題<sup>9</sup>

## IT リスク

### システム統合

プロセス自動化、オーケストレーション、コアの近代化など既存技術への投資により統合が複雑化<sup>9</sup>

### データ準備

AI モデルのトレーニングのためのデータ準備や、これらのソリューションをバリューチェーンに統合するための大きな労力が必要<sup>9</sup>

### CSR への配慮

高頻度の金融取引を処理するために大量のエネルギーを必要とするため、効率と環境のバランスを考慮した開発が必要<sup>13</sup>

### セキュリティ

より多くの機密データを扱うため、サイバー攻撃の標的となりやすい。ブロックチェーン統合などの強固なセキュリティプロトコルの確保が必要<sup>10</sup>

## 法的リスク

### 説明可能性

説明可能性を低下させる可能性があり、金融庁などが AI モデルの透明性と監査可能性を求める可能性がある<sup>13</sup>

### コンプライアンス

偏った金融データに基づいて学習することで、差別的な融資慣行を引き起こす可能性がある<sup>13</sup>

### 規制

自律的に動作する能力があるため、規制要件に違反する行動を引き起こす可能性がある<sup>10</sup>

04

# エンタープライズ ソリューション トレンド



# 主成功要素



## マルチエージェントシステム化

マルチエージェントシステムは、複数のエージェントが自律的に協力し合って複雑な問題を解決するシステム。専門特化したエージェントによって、その領域での高精度な回答が得られ、誤回答（ハルシネーション）を防ぐ。また、各組織のエージェントが協力することで、組織内のサイロ化をも防ぐ。さらに、機能やエリアに関係なく容易に拡張でき、システム全体の大規模な改修が不要。加えて、冗長性を持たせ適応力を確保することで、障害が発生しても事業が継続可能

特にエンタープライズ・ワークフローにおいては、複数エージェント同士のシームレスな連携と協調を可能にする、構造化されたフレームワークの必要性がさらに高まる傾向



## プライベートホスティング

エンタープライズ・ワークフローにおいては、より多くの機密情報や個人情報を取り扱うため、セキュリティが非常に重要となる。企業独自のアルゴリズムやモデルが外部に漏れるのを防ぐためには、ファインチューニングされた大規模言語モデル（LLM）や、検索を拡張するための企業独自データ（RAG）はプライベートなホスティング環境に置く必要がある

また、マルチエージェントシステムの場合、エージェントの認証、通信の安全性、エージェント間の信頼性といった問題に対応することも必須



## 最小実用可能プロダクト

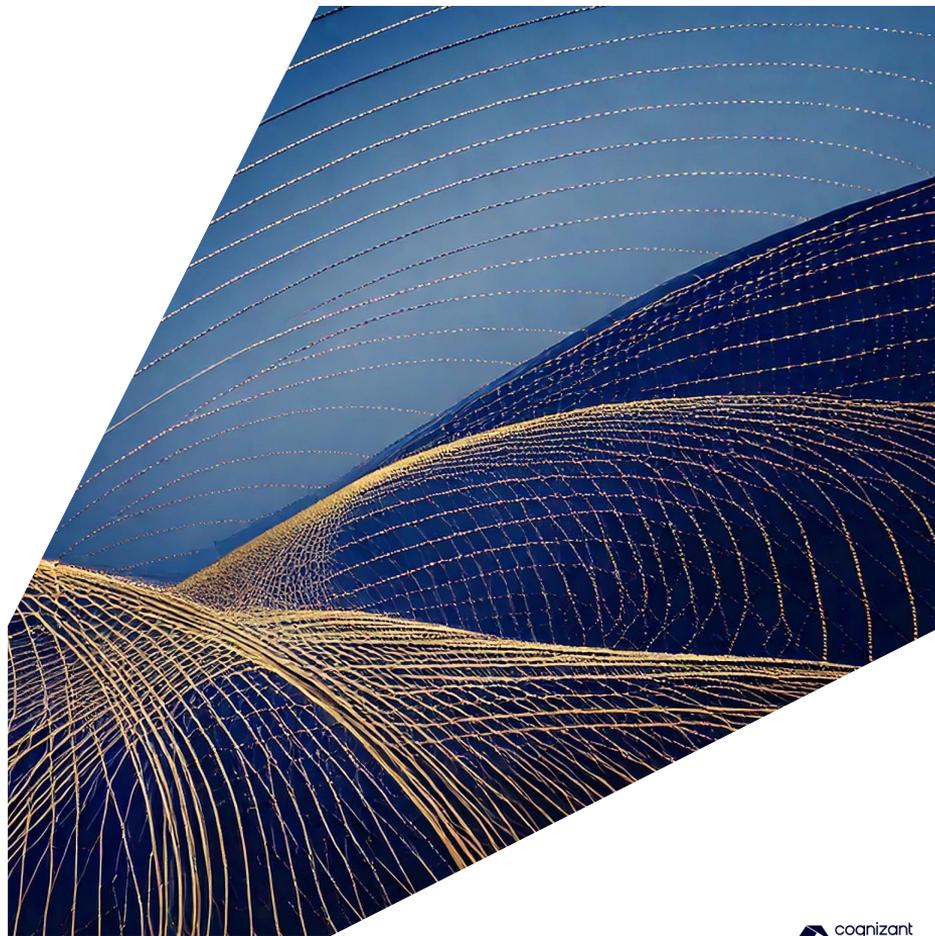
過去の技術トレンド到来にあたり繰り返された数多の概念検証（POC）だけでは市場投入にいたれなかった反省を踏まえ、まずは実用可能で最小限のプロダクト（MVP）をリリースし、フィードバックからインサイトを得る反復プロセスを踏むことが創出価値を獲得するためには肝要

特に昨今エンタープライズ AI の採用は大きな変化を遂げており、最新データでは収益を生み出すミッションクリティカルな実装が進んでいることが示された。Air Street Capital の調査によると、エンタープライズ AI アプリケーションの 12 か月後のリテンション率は、前年の 41% から 63% に増加

過去の実験的なテクノロジーから、よりビジネスクリティカルなインフラへと根本的な移行加速が示唆される<sup>18</sup>

05

# 日本国内の エージェント ストーリー



# 日本国内における AI エージェント

## 日本政府における AI への取り組み

### 日本政府

政府の AI に対する取り組みは、内閣府の AI 戦略会議が中心となって進めており、経済産業省が AI の利活用を推進し、文化庁が著作権などの法制度整備を担当し、内閣府 AISI が安全性対策を行うなど、各省庁が連携して取り組んでいる<sup>19</sup>

政府は『AI ホワイトペーパー 2024』にて記載されている通り、「**世界一 AI フレンドリーな国**」を目指している。そのため、法規制（ハードロー）は最小限にとどめ、ガイドライン（ソフトロー）に基づく事業者の自発的な対応を基本方針としている<sup>20</sup>

すでに公表されているガイドラインとしては、総務省と経済産業省による『AI 事業者ガイドライン』（2024 年 4 月）<sup>21</sup> や、一般社団法人金融データ活用推進協会による『金融機関における生成 AI の開発・利用に関するガイドライン』（2024 年 5 月）<sup>22</sup>などが存在

## 日本国内における事例

### みずほ銀行

AI を活用した市場分析システム「ALPHA」により、国債電子取引の最適化と効率化を実現。このシステムは、過去の取引データや市場環境を分析し、トレーダーに対して最適な取引手法を提案<sup>23</sup>

### 三菱UFJ銀行

AI を活用した不正取引検知システムを導入し、ATM での不正利用取引の 94%を検知することに成功。このシステムは、従来のルールベース方式と比較して、誤検知と運用コストを抑えながら高精度な検知を実現<sup>23</sup>

### 大和証券

AI オペレーターがマーケット情報や一般的な手続きの問い合わせに対応する回答 AI エージェントを構築。さらに、モニタリング AI エージェントを用意し、回答 AI エージェントが、応対内容に問題がないかをチェックする仕組みも構築<sup>24</sup>

## ビッグニュース

### SB OpenAI Japan

2025 年 2 月 3 日、ソフトバンクと OpenAI の合弁会社が、ソフトバンクグループを皮切りに他の日本企業に対し、年間利用料 4,500 億円で長期記憶を持ったマルチエージェント AI を提供すると発表。大きな話題を呼んだ<sup>25</sup>

### OpenAI

2025 年 2 月 21 日、ユーザーに代わって web にアクセスしてタスクを実行できる AI エージェント「Operator」が日本でも提供開始

また、2025 年 2 月 26 日、複雑なタスクについてインターネット上で多段階の調査を実行する AI エージェント「Deep Research」も日本で提供開始

06

# 当社アプローチ



# オペレーティングモデルを通じて実現

金融・保険企業の AI エージェント機能に適したオペレーティングモデルは、スケーリングを可能にし、企業の組織構造と文化に一致するものでなければならない

当社の専門知識は、戦略的目標の達成を促進するオペレーティング環境を提供するための戦略的アプローチを可能にする

## イノベーション CoE

### イノベーションセンター・オブ・エクセレンス

- 意図と戦略の設定
- 設計とスケール
- 構築と資金調達
- 促進と燃料供給

## オペレーティングモデル

### 高度に集中化

中央チームが AI エージェントソリューションを規制



### 中央主導

AI エージェントチームと事業部門間で部分的に統合



### 事業部門主導

事業部門によるボトムアップの AI エージェント適用



### 高度に分散化

事業部門全体で高度に統合



## 取り組み

### データ保持部門

財務、営業、人事、生産、IT

### データ & AI ガバナンス

### データサイエンス

### IT 運用

### データ消費者

プロセスオーナー、マネージャー、ビジネスアナリスト、経営幹部

集約されたデータと AI チーム



● 最高経営責任者 ● 事業部門 ● AI エージェントチーム ○ AI エージェント戦略担当

# 今こそ AI エージェントの試行を始める時 当社が実践をリード

当社 AI innovation Labs は、組織内で AI エージェントに対する共通理解とビジョンを創り出すための基盤を構築

ビジネス領域全体で AI エージェントの利点を探り、潜在的なリスクや倫理的な考慮事項にも対応

インタラクティブなセッションを通じて、次の洞察を得ることが可能：

- 可能性追求：銀行業界を革新する AI エージェントの画期的な応用を探究
- ビジョン： AI エージェント投資方向性を定めるため、核心目標を確立し、調整
- AI エージェントの成熟度：企業採用フレームワークに基づき、主要な強みとギャップを評価
- 責任ある AI の実践：責任ある信頼できる AI エージェントの使用を確保するため、倫理的考慮事項とベストプラクティスを探求
- ユースケースロードマップ：実装ロードマップと採用基盤を形成する、適切な AI エージェントユースケースを定義

## AI エージェントの原則<sup>1</sup>



既存のビジネス資産と資料（利用可能な場合）

## インタラクティブワークショップ

(次のスライドにサンプルアジェンダ)



Cognizant の企業向け AI エージェントアプローチを用いて、AI エージェントと責任ある AI の理解を加速し、解決できる課題を定義

## 主要な成果物

ワークショップ概要と成熟度能力評価

AI エージェントを組み込み、組織の適応力を向上させるための次ステップに関する推奨事項

ビジネスに適用可能な AI エージェントユースケース要約バックログ

# 実験開始を加速

## インタラクティブワークショップの開催

Cognizant の企業向け AI エージェントアプローチを用いて、AI エージェントと責任ある AI の理解を加速し、解決できる課題を定義

### サンプルアジェンダ

#### サンプル1: ビジネスケース開発支援モデルの提案

サンプルユースケース「アプリストアにおけるユーザー評価とフィードバック」など

- ユースケースのバリュードライバーと考慮事項を検討

#### サンプル2: イノベーション CoE を設立するための推奨事項を定義

- AI エージェントの環境を定義
- ツールの選択肢と選定
- ベンダーの選定
- テストバックログをサポートする技術スタック

#### サンプル3: クイックに AI エージェント活用ビジョン図示

- 機会創出ワークショップとサービスブループリントから MVP 構築



市川 恵貴

エクスペリエンス・パートナー  
ディレクター



マリオ・クニオ

サービスライン・スペシャリスト  
ディレクター  
日本デザインヘッド



梶井 祐介

エクスペリエンス・ストラテジスト  
マネージャー



# 出典

1. OpenAI, Inc., [“Practices for Governing Agentic AI Systems”](#), 2023
2. Bloomberg L.P., [“OpenAI Scale Ranks Progress Toward ‘Human-Level’ Problem Solving”](#), 2024
3. Backbase, [“The Intelligence Fabric is here”](#), 2025
4. Akira AI., [“Revolutionizing Banking Operations with Agentic AI”](#), 2025
5. Akira AI., [“The Future of Insurance: Embracing Agentic AI”](#), 2025
6. Binit Agrawal, [“Agentic AI : Use Cases for the Financial Services Industry”](#), 2024
7. Bud Financial Inc., [“Agentic banking platform”](#), 2025
8. Citigroup Inc., [“Agentic AI Finance & the ‘Do It For Me’ Economy”](#), 2025
9. Everest Global, Inc., [“Agentic Artificial Intelligence \( AI \): The Next Growth Frontier – Can It Drive Business Success for Banking & Financial Services \(BFS\) Enterprises? | Blog”](#), 2024
10. Everest Global, Inc., [“Agentic AI in Insurance: Transforming Risk, Relationships, and Results | Blog”](#), 2024
11. interface. AI, [“What is Agentic AI – and Why Everyone’s Talking About it”](#), 2024
12. Lithasa Technologies Pvt. Ltd., [“AI Agents in Finance: Applications And Examples”](#), 2024
13. Piyush Ranjan, [“The Future of Finance in the Age of Agentic AI”](#), 2025
14. SiliconANGLE Media, Inc., [“The Rise of Agentic AI in Financial Services – and Why That’s Exciting”](#), 2024
15. Uzabase, Inc., [“Agentic AI in financial services: A closer look at use cases”](#), 2025
16. TechTarget, Inc., [“martini. AI Launches Agentic AI Company Research to Deliver Comprehensive Credit Insights at a Glance”](#), 2025
17. Bennett, Coleman & Co. Ltd., [“Agentic AI ‘s enabling sharp rise in productivity, response times - The Times of India”](#), 2024
18. Forbes Media LLC., [“Why Enterprise AI Adoption Is Finally Reaching Its Tipping Point: A Guide For Corporate Leaders”](#), 2025
19. Association to Generalize Utilization of Generative AI., [“4つのテーマで俯瞰する日本の生成 AI 戦略2024 | AI 戦略会議から各種ガイドラインまで網羅”](#), 2024
20. 自民党デジタル社会推進本部, [“AI ホワイトペーパー 2024 ステージIIIにおける新戦略 ~世界一 AI フレンドリーな国へ”](#), 2024
21. 総務省, [“「 AI 事業者ガイドライン」掲載ページ”](#), 2024
22. 一般社団法人金融データ活用推進協会, [“生成 AI WG”](#), 2024
23. AI Front Trend., [“【2025最新】 AI エージェントの活用事例9選！ 業界・用途別に解説”](#), 2025
24. Impress Corporation., [“日本マイクロソフトが「 AI エージェント」の展開を加速、多様なニーズとレベルにあわせて提供”](#), 2024
25. SoftBank Group Corp., [“OpenAI とソフトバンクグループ、 Am、ソフトバンクによる法人向け特別イベント「 AI による法人ビジネスの変革」”](#), 2025